



# ゲーテの恋

時は18世紀後半。大学の卒業試験に失敗したヨハンは、父親の斡旋で、故郷 **Frankfurt am Main** から北へ70キロ程の田舎町 **Wetzlar** の法律事務所で働くことになった。そこで彼を待っていたのは、馬の合わない上司 ケストナーと、不思議に気の合う同僚イエルーザレムだった。仕事にも慣れてきたある日、ヨハンは町の舞踏会で一人の若い女性と出会う。彼女の名は**Lotte (Charlotte)**。たくさんの弟、妹を抱える、貧しい一家の娘だった。フィリップ・シュテルツル (**Philipp Stölzl**) 監督による **2010年** ドイツの作品。この作品ではストーリーだけではなく、18世紀の街や家屋の描写にも注目したい。



## Johann Wolfgang von Goethe (1749-1832)

ヨハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテはマルチタレントだった。ウィキペディアには「ドイツの詩人、劇作家、小説家、自然科学者、政治家、法律家」とある。25歳の時に発表した「若きウェルテルの悩み」で時の人となる。この映画はその作品を下書きにして、ゲーテの青年時代を描いている。ドイツでも日本でも、長らく神格化されてきたゲーテだが、近年は等身大のゲーテが語られるようになった。この映画もその流れのなかで作られたもの。その他の代表作は、長編「ヴィルヘルム・マイスターの修業時代」、戯曲「ファウスト」など。



**Alexander Fehlin** (ヨハン)  
1981年ベルリン生まれの俳優

**Mirian Stein** (ロッテ)  
1988年ウィーン生まれの女優



左から  
**Volker Bruch**  
(イエルーザレム役)



**Moritz Bleibtreu**  
(ケストナー役)



**Burghart Klaußner**  
(ロッテの父役)